



Re_Design !! ISHIKARI

石狩市行政改革大綱2026

実施計画

(令和4年4月1日版)

北海道石狩市

目次

-
- 1 満足度の高い市民サービスの推進…03

 - 2 市民協働を中心とした多様な主体との連携によるまちづくりの推進…10

 - 3 社会情勢の変化に柔軟に対応する強い組織づくり…15

 - 4 変化する環境に対応できる人材の確保・育成…19

1 満足度の高い市民サービスの推進



1-1

「必要な人に対して」「必要なタイミングで」「必要な情報に」アクセスしやすい環境を提供します

実施事業	担当部署	R4/2022※1	R5/2023	R6/2024	R7/2025	R8/2026
情報発信に関する全庁的なガイドラインを定めます	秘書広報課	★	➡	➡	➡	➡
事業概要：様々な情報媒体（SNS等）を効果的に使い分けるガイドラインの検討		ガイドラインの検討	効果測定と情報発信手法の継続的な評価・改善	効果測定と情報発信手法の継続的な評価・改善	効果測定と情報発信手法の継続的な評価・改善	効果測定と情報発信手法の継続的な評価・改善
事業の進捗状況						
ガイドラインに基づいた情報発信体制を整備します	行政管理課	★	★	➡	➡	➡
事業概要：市ホームページの改善、市公式LINE※2のセグメント配信等の整備		LINEのセグメント配信・市HP改善策の検討	市HP改善へ向けた取組・情報発信体制の評価	評価に基づく改善手法の検討・実施	評価に基づく改善手法の検討・実施	評価に基づく改善手法の検討・実施
事業の進捗状況						

※1 「R4/2022」は、令和4年度（2022年度）を意味しています。以下のページにおいても同様です。

※2 「LINE」は、LINE株式会社の商標または登録商標です。

1 満足度の高い市民サービスの推進

1-2

より使いやすい手続、支払い環境を構築します①



実施事業	担当部署	R4/2022	R5/2023	R6/2024	R7/2025	R8/2026
申請手続のオンライン申請機能を実装します	行政管理課	★	➡	➡	➡	➡
事業概要：国が指定する手続に加え、優先順位を決めて手続を拡大する		子育て・介護手続について実装 優先順位の検討	優先順位に従い機能を実装する対象手続を拡大	優先順位に従い機能を実装する対象手続を拡大	優先順位に従い機能を実装する対象手続を拡大	優先順位に従い機能を実装する対象手続を拡大
事業の進捗状況						
申請手続の記入項目・資料添付等の負担を削減します	行政管理課	★	➡	➡		
事業概要：記入項目や添付する資料を削減し、手続の負担を減らす		負担削減内容の検討／即時改善可能な取組実施	改善に予算を伴う取組実施	改善に予算を伴う取組実施（完了）		
事業の進捗状況						

1 満足度の高い市民サービスの推進

1-2

より使いやすい手続、支払い環境を構築します②



実施事業	担当部署	R4/2022	R5/2023	R6/2024	R7/2025	R8/2026
市税・手数料等の支払方法の利便性を高めます	行政管理課 窓口担当課	★	➡	➡	➡	➡
事業概要：市税・手数料の等の支払方法として電子マネー、2次元バーコード等を拡大		スマートレジの導入	拡大可能な支払方法、支払対象等の検討	拡大可能な支払方法、支払対象等の検討	拡大可能な支払方法、支払対象等の検討	拡大可能な支払方法、支払対象等の検討
事業の進捗状況						

1 満足度の高い市民サービスの推進

1-3

より相談しやすい、より受けやすい支援サービスを研究し、提供体制を実現します①



実施事業	担当部署	R4/2022	R5/2023	R6/2024	R7/2025	R8/2026
相談・支援サービスの改善を進めます	行政管理課 業務所管課	➡	➡	➡	➡	➡
事業概要：相談・支援サービスの業務を可視化し、改善手法を検討		相談・支援サービスに係る改善策の調査・検討	モデル業務について改善策の実施・評価	モデル業務の改善策の他部署業務への展開	モデル業務の改善策の他部署業務への展開	モデル業務の改善策の他部署業務への展開
事業の進捗状況						
オンライン等による相談しやすい体制の推進	行政管理課 業務所管課	➡	➡	➡	➡	➡
事業概要：相談機会の拡大を目的としてオンライン相談、オンライン予約を導入		先行事業の調査、オンライン相談導入手法の検討	モデル事業についてオンライン相談導入・評価	モデル事業の改善策の他部署業務への展開	モデル事業の改善策の他部署業務への展開	モデル事業の改善策の他部署業務への展開
事業の進捗状況						

1 満足度の高い市民サービスの推進



1-3

より相談しやすい、より受けやすい支援サービスを研究し、提供体制を実現します②

実施事業	担当部署	R4/2022	R5/2023	R6/2024	R7/2025	R8/2026
相談員、支援者の作業負担を軽減し相談の質を高めます	行政管理課 業務所管課	➡	➡	➡		
事業概要：相談記録・情報共有等の作業負担を軽減するアプリ等の環境を整備		相談・支援サービスに係る改善策の調査・検討	モデル業務について改善策の実施・評価	モデル業務の改善策の他部署業務への展開		
事業の進捗状況						

1 満足度の高い市民サービスの推進

1-4

市民サービスの向上へ向けて他自治体の取組みや成功事例等を庁内で共有します



実施事業	担当部署	R4/2022	R5/2023	R6/2024	R7/2025	R8/2026
取組事例を共有しやすい環境を整備します	行政管理課	➡	➡	➡	➡	➡
事業概要：自治体の取組・成功事例を職員同士で共有・交流できる環境整備		環境整備、取組事例の情報源（国、道、事業者）の確保	環境、取組事例の継続的な提供 交流機会の提供	環境、取組事例の継続的な提供 交流機会の提供	（情報交流の活性化が前提）環境の継続的提供	（情報交流の活性化が前提）環境の継続的提供
事業の進捗状況						

1 満足度の高い市民サービスの推進

1-5

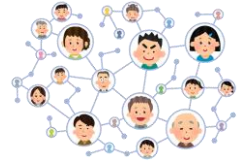
新たな市民サービスの在り方を研究し、実証します

実施事業	担当部署	R4/2022	R5/2023	R6/2024	R7/2025	R8/2026
厚田区・浜益区における持続可能な市民サービスの在り方を検討します	企画課 行政管理課 厚田支所 浜益支所	➡	➡	➡	➡	➡
事業概要：デジタル技術を活用し、効率的なサービス提供手法の調査・検討		サービス提供手法の調査・区民ニーズの把握	実証に向けたサービス手法の検討	検討したサービスの実証と評価	新たなサービスの本格導入への準備	新たなサービスの本格導入
事業の進捗状況						

2 市民協働を中心とした多様な主体との連携によるまちづくりの推進

2-1

連携によって地域の課題に取り組んだ事例を紹介し、ネットワーク構築の機運を醸成します



実施事業	担当部署	R4/2022	R5/2023	R6/2024	R7/2025	R8/2026
複数の団体が連携した取組事例を共有します	広聴・市民生活課	★	★	➡	➡	➡
事業概要：SNS等を通じて各団体の取組事例を共有する		団体が連携している取組を調査共有方法の検討	団体が連携している取組を調査共有方法の検討	連携した取組の共有、共有方法の改善	連携した取組の共有、共有方法の改善	連携した取組の共有、共有方法の改善
事業の進捗状況						

2 市民協働を中心とした多様な主体との連携によるまちづくりの推進

2-2

多様な主体の連携を後押しする契機を提供します

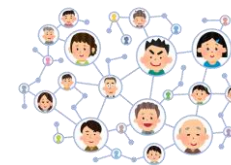


実施事業	担当部署	R4/2022	R5/2023	R6/2024	R7/2025	R8/2026
団体間の連携活性化へ向けた手法の検討を進めます	広聴・市民生活課 各団体所管課	★	★	➡	➡	➡
事業概要：市内にある団体間の連携活動実態を把握し、支援手法を検討・実施		団体間の連携活動実態を把握し、支援手法を検討	団体間の連携活動実態を把握し、支援手法を検討	情報発信手法の継続的な評価	情報発信手法の継続的な評価	情報発信手法の継続的な評価
事業の進捗状況						
協働事業提案制度による協働事業に取り組みます	広聴・市民生活課	➡	➡	➡	➡	➡
事業概要：特定のテーマを設定する等制度活用の活性化を検討		制度による協働事業の実施と評価	制度による協働事業の実施と評価	制度による協働事業の実施と評価	制度による協働事業の実施と評価	制度による協働事業の実施と評価
事業の進捗状況						

2 市民協働を中心とした多様な主体との連携によるまちづくりの推進

2-3

多様な主体がデジタル技術を活用しお互いの情報を共有するプラットフォームを構築します



実施事業	担当部署	R4/2022	R5/2023	R6/2024	R7/2025	R8/2026
市民・団体活動支援のためのプラットフォーム※1を構築します	行政管理課 各団体所管課	★	➡	➡	➡	➡
事業概要：市内にある団体間の連携活動実態を把握し、支援手法を検討・実施		団体間の連携活動実態を把握し、支援手法を検討	情報発信手法の継続的な評価	情報発信手法の継続的な評価	情報発信手法の継続的な評価	情報発信手法の継続的な評価
事業の進捗状況						
構築したプラットフォームの参加団体の拡大	行政管理課 各団体所管課		➡	➡	➡	➡
事業概要：プラットフォーム活用団体の拡大と活用活性化の方策を検討・実施			活用拡大方策の検討・実施	活用拡大方策の検討・実施	活用拡大方策の検討・実施	活用拡大方策の検討・実施
事業の進捗状況						

※1 プラットフォームとは、利用者と生産者など異なるグループや要素を仲介し結びつけることでネットワークを構築する基盤。この基盤を用いて、情報、サービスなどの交換を可能とするもの。

2 市民協働を中心とした多様な主体との連携によるまちづくりの推進



2-4

まちの情報（オープンデータ）を共有する方法を検討し、実現します

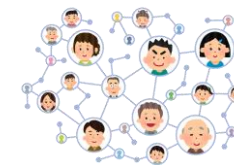
実施事業	担当部署	R4/2022	R5/2023	R6/2024	R7/2025	R8/2026
市が保有する情報のオープンデータ※¹化を推進します	行政管理課	★	➡	➡	➡	➡
事業概要：優先順位を設定し、オープンデータ化を進め整備内容を体系的に周知		優先順位とR8年までの整備方針を検討	方針に従い整備	方針に従い整備	方針に従い整備	方針に従い整備
事業の進捗状況						
オープンデータ活用促進策の実施	行政管理課	➡	➡	➡	➡	➡
事業概要：オープンデータの活用を体験する事業を実施		活用事例の周知と活用促進事業の実施	活用事例の周知と活用促進事業の実施	活用事例の周知と活用促進事業の実施	活用事例の周知と活用促進事業の実施	活用事例の周知と活用促進事業の実施
事業の進捗状況						

※1 オープンデータとは、国、地方公共団体及び事業者が保有するデータのうち、国民誰もがインターネット等を通じて容易に利用できるよう、①営利目的、非営利目的を問わず二次利用可能なルールが適用されたもの、②機械判読に適したものの、③無償で利用できるものという3つの条件に該当する形で公開されたデータをいう。

2 市民協働を中心とした多様な主体との連携によるまちづくりの推進

2-5

連携中枢都市圏の構成主体など他の自治体等関係機関との連携を進めます



実施事業	担当部署	R4/2022	R5/2023	R6/2024	R7/2025	R8/2026
札幌連携中枢都市圏に係る取組の推進	企画課 関係所管課	➡	➡	➡	➡	➡
事業概要：連携中枢都市圏の協議・取組への参加		協議・取組への参加	協議・取組への参加	協議・取組への参加	協議・取組への参加	協議・取組への参加
事業の進捗状況						

3 社会情勢の変化に柔軟に対応する強い組織づくり



3-1

政策の高度化、事業の効率化を推進します①

実施事業	担当部署	R4/2022	R5/2023	R6/2024	R7/2025	R8/2026
政策立案の高度化へ向け庁内データの共有と活用を促進します	企画課 政策担当 財政課	★	➡	➡	➡	➡
事業概要：事業情報、共有データの活用を目指し、データ作成、共有のルール策定と普及		データ共有ガイドラインの策定、事業情報共有の検討、教育機会の提供	データ共有状況の把握、教育機会の提供	データ共有状況の把握、教育機会の提供	データ共有状況の把握、教育機会の提供	データ共有状況の把握、教育機会の提供
事業の進捗状況						
データ活用能力向上のため教育機会を提供します	行政管理課	★	➡	➡	➡	➡
事業概要：データ活用、E B P Mに関する教育機会の提供		教育機会に関する情報の収集、教育機会の提供	教育機会に関する情報の収集、教育機会の提供	教育機会に関する情報の収集、教育機会の提供	教育機会に関する情報の収集、教育機会の提供	教育機会に関する情報の収集、教育機会の提供
事業の進捗状況						

3 社会情勢の変化に柔軟に対応する強い組織づくり

3-2

意思決定のスピードアップを図ります

実施事業	担当部署	R4/2022	R5/2023	R6/2024	R7/2025	R8/2026
合議部署の削減へ向けた見直し	総務課	★	➡			
事業概要：合議部署の削減へ向けた見直し検討を依頼		検討依頼についての方針決定 検討依頼	検討依頼についての方針決定 検討依頼			
事業の進捗状況						
電子決裁・文書管理システムの導入検討	総務課	★	➡	➡	➡	➡
事業概要：電子決裁・文書管理のシステム化へ向けた検討及び導入		機能要件、導入スケジュールの検討	導入へ向けた環境整備、詳細検討	導入へ向けた環境整備、詳細検討	導入へ向けた取組	導入へ向けた取組
事業の進捗状況						

3 社会情勢の変化に柔軟に対応する強い組織づくり

3-3

市民が行う手続と事務の効率化を図ります

実施事業	担当部署	R4/2022	R5/2023	R6/2024	R7/2025	R8/2026
申請手続のオンライン申請機能を実装します【再掲】	行政管理課	➡	➡	➡	➡	➡
事業概要：国が指定する手続に加え、優先順位を決めて手続を拡大する		子育て・介護手続について実装 優先順位の検討	優先順位に従い機能を実装する対象手続を拡大	優先順位に従い機能を実装する対象手続を拡大	優先順位に従い機能を実装する対象手続を拡大	優先順位に従い機能を実装する対象手続を拡大
事業の進捗状況						
申請手続と手続処理事務についてBPR※1の取組を推進します	行政管理課	★	➡	➡	➡	➡
事業概要：業務フローの可視化、改善項目の検討を経て申請・事務フローを改善		特定の手続・事務フローの可視化、改善	対象拡大し、手続・事務フローの可視化、改善	対象拡大し、手続・事務フローの可視化、改善	対象拡大し、手続・事務フローの可視化、改善	対象拡大し、手続・事務フローの可視化、改善
事業の進捗状況						

※1 BPRとは、「ビジネスプロセス・リエンジニアリング（Business Process Re-engineering）」の略称。現在の組織の業務内容やフロー、組織の構造などを根本的に見直し、再設計すること。

3 社会情勢の変化に柔軟に対応する強い組織づくり



3-4 組織内の情報共有を活性化します

実施事業	担当部署	R4/2022	R5/2023	R6/2024	R7/2025	R8/2026
電子マニュアルを全庁での運用を進めます	行政管理課	★	➡	➡	➡	➡
事業概要：電子マニュアルの運用を全庁に拡大し、ノウハウの共有を促進		全庁展開に向け、 ルールの策定と活用策の検討	全庁的な運用と活用状況の検証	全庁的な運用と活用状況の検証	全庁的な運用と活用状況の検証	全庁的な運用と活用状況の検証
事業の進捗状況						
導入済アプリケーションを活用した情報共有の活性化	行政管理課	➡	➡	➡	➡	➡
事業概要：活用事例を共有、教育機会を提供することにより活性化を促進		活用事例の共有教育機会の提供	活用事例の共有教育機会の提供	活用事例の共有教育機会の提供	活用事例の共有教育機会の提供	活用事例の共有教育機会の提供
事業の進捗状況						

4 変化する環境に対応できる人材の確保・育成

4-1

時代変化に対応する職員力を高める取り組みを実施します

実施事業	担当部署	R4/2022	R5/2023	R6/2024	R7/2025	R8/2026
人材育成基本方針の見直し	行政管理課	➡	➡	➡	➡	➡
事業概要：時代変化に対応する職員能力の向上、人材確保を柱とした方針を策定		人材育成基本方針の見直し	人材育成基本方針の見直し	人材育成基本方針の検討	人材育成基本方針の検討	人材育成基本方針の策定
事業の進捗状況						

4 変化する環境に対応できる人材の確保・育成

4-2

職員の政策法務能力やデジタル対応能力の向上を目指し、研修等を実施します①

実施事業	担当部署	R4/2022	R5/2023	R6/2024	R7/2025	R8/2026
職員の政策法務能力の向上を目指し教育機会を提供します	行政管理課	➡	➡	➡	➡	➡
事業概要：政策法務能力の研修機会や学習資料を提供		政策法務能力の研修機会や学習資料を提供	政策法務能力の研修機会や学習資料を提供	政策法務能力の研修機会や学習資料を提供	政策法務能力の研修機会や学習資料を提供	政策法務能力の研修機会や学習資料を提供
事業の進捗状況						
職員のデジタル対応能力の向上を目指し教育機会を提供します	行政管理課	➡	➡	➡	➡	➡
事業概要：デジタル対応能力の研修機会や学習資料を提供		デジタル対応能力の研修機会や学習資料を提供	デジタル対応能力の研修機会や学習資料を提供	デジタル対応能力の研修機会や学習資料を提供	デジタル対応能力の研修機会や学習資料を提供	デジタル対応能力の研修機会や学習資料を提供
事業の進捗状況						

4 変化する環境に対応できる人材の確保・育成

4-2

職員の政策法務能力やデジタル対応能力の向上を目指し、研修等を実施します②

実施事業	担当部署	R4/2022	R5/2023	R6/2024	R7/2025	R8/2026
DX※1推進員の配置	行政管理課	★	➡	➡	➡	➡
事業概要：推進員制度を創設し、推進員及び組織全体の能力向上を支援		推進制度創設、推進員活用の取組を展開、評価	推進員活用の取組を展開、評価	推進員活用の取組を展開、評価	推進員活用の取組を展開、評価	推進員活用の取組を展開、評価
事業の進捗状況						

※1 DXとは、「デジタル・トランスフォーメーション（Digital Transformation）」の略称。進化したデジタル技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革すること。その変革は、既存の価値観や枠組みを根底から覆すような革新的なものであること。

4 変化する環境に対応できる人材の確保・育成

4-3

職員の「変化に挑戦する意欲」につながる人事評価の在り方を検討します

実施事業	担当部署	R4/2022	R5/2023	R6/2024	R7/2025	R8/2026
人事評価制度の見直し	行政管理課	➡	➡	➡	➡	➡
事業概要：人事評価制度の見直し		人事評価制度の見直し、制度改正	人事評価制度の見直し、制度改正	人事評価制度の見直し、制度改正	人事評価制度の見直し、制度改正	人事評価制度の見直し、制度改正
事業の進捗状況						



4 変化する環境に対応できる人材の確保・育成

4-4

多彩な人材が「働き甲斐」、「働きやすさを」感じ、持てる能力を最大限発揮できる環境を整備します

実施事業	担当部署	R4/2022	R5/2023	R6/2024	R7/2025	R8/2026
ワークライフバランスが実感できる労働環境を整備します	行政管理課	➡	➡	➡	➡	➡
事業概要：ワークライフバランスの観点からの労働環境の把握と改善策の実施		労働環境の把握と改善策の実施	労働環境の把握と改善策の実施	労働環境の把握と改善策の実施	労働環境の把握と改善策の実施	労働環境の把握と改善策の実施
事業の進捗状況						

行革大綱の取組が達成された状態のイメージ (検討のための内部用参考資料)

4つの柱	イメージ1	イメージ2	イメージ3
満足度の高い市民サービスの推進	<p>初めてそのサービスを利用することとなった市民が、そのサービスの概要・手続の方法についてまとめられた情報に簡単にアクセスすることができ、更にそれらの情報を容易に理解することができる。そのうえで、実際の手続についてもオンライン等で時間、居住地に影響されずに簡単に完了することができる。</p>	<p>市民サービスに携わるすべての職員においてサービス向上に対する意識が高まり、他自治体の成功事例や他部署の取り組み事例や改善手法について積極的に情報交換されることにより、サービス改善の取り組みが石狩市のサービス向上に反映されている。</p>	
市民協働を中心とした多様な主体との連携によるまちづくりの推進	<p>市内の様々な団体が気軽に交流できる環境を多くの団体が利用しており、団体自身が抱える課題を団体同士で協働して解決したり、それらの実践からまちづくりの課題解決にもつながる取組みが展開されている。</p>	<p>市役所の各部署の担当者が、関係団体との協働により効果的な取組みが見込まれる課題・事業について積極的に情報を共有し、事業の協働実施につなげることができる。</p>	
社会情勢の変化に柔軟に対応する強い組織づくり	<p>石狩の市政運営に係る現状が数値データを含めリアルタイムで共有できており、課題把握から解決までのノウハウが整理・共有されていることにより、一定の経験を積んだ職員は誰でもがデータに基づく政策選択・実施を行えている。</p>	<p>意思決定はすべて電子決裁となり、子育てを理由にリモートワークをしている決裁権者が意思決定の根拠となる資料に素早くアクセスして内容を確認したうえで、決裁できる。</p>	<p>未だ残る紙データの電子化や形式的な判断処理はAIを活用したシステムが行うことになり、本当に必要な判断だけを職員が行うことにより、申請から決定通知までの時間が半減する。</p>
変化する環境に対応できる人材の確保・育成	<p>自らの情報収集と積極的な研修の参加により、現代の地域課題・将来の社会変化に関心を持った職員が、市民サービスの在り方や業務の効率的な進め方について考え交流する機会に定期的に参画し、持続可能な行政組織を支える職員となる</p>	<p>多くの職員が、育児・介護などの家庭環境の変化に対応した働きやすい環境の中で、自らのキャリアデザインを持って働き甲斐を感じながら働いている。</p>	